

2022. 4

事務局（地独）京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター（担当:比嘉, 竹浪）
kyotonokogei@tc-kyoto.or.jp
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91
TEL : 075-326-6100 (代表) FAX : 075-326-6200 (事務局)

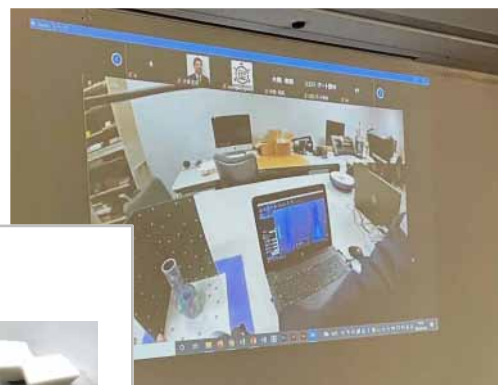
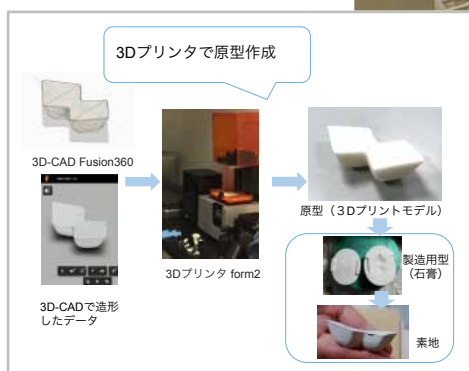
NO. 28

京都工芸研究会便り

1. <事業報告> リアル&WEBセミナー「伝統産業×デジタルFab」 2/9（水） 於：京都市産技研 参加者：32名（リアル14名 ウェブ18名 ＊内、会員11名）

今回のセミナーでは産技研と京都工芸繊維大学 KYOTO Design Labをオンラインでつなぎ、その先進的な研究活動を紹介いただくとともに産技研からは製造工程の効率化やデジタルならではのデザイン実現など、デジタル化がもたらす幾つかの利点を提示しました。

デジタル技術活用による地域技術のイノベーションを起こす橋渡し役として、産技研を利用いただく皆さんの異業種交流の機会を作っていければと思います。まずは、KYOTO Design Labの見学会開催でしょうか！ご意見、ご提案をお待ちしております。



▲産技研 機材紹介の様子

◀ 3DCAD/3Dプリントの陶磁器への応用例

2. 製品開発事業「こうげい組体操」のための「準備体操」企画中！



異業種コラボでの新製品開発事業「こうげい組体操」を令和4年度に始動いたします。

異業種コラボといってもさて、金工、漆器、竹工、茶道具、陶磁器、内装工芸、団扇、版画、仏壇・仏具、人形、表装、木工、香にわたる76会員のどの方とどの方が組めるのか？

まずは会員の皆様がお互いを良く知ることが必要。そこで考えました。「こうげい組体操」を始める前の「準備体操」をしよう。

具体的には「会員の技術サンプルや作品の見本市？」「見学会？」など。現在、鋭意企画検討中です！



3. シリーズ 会員に訊く (第2回)

片岡光春人形司 片岡行雄さん

～工人(こうじん)が人形に込める想い～

今回は、京人形師の片岡行雄(片岡光春人形司)さんに人形制作に込める思いについてお話をうかがいました。

片岡さんは2003年～2014年まで工芸研究会の委員長として会をまとめてくださいました。2021年は、先代から数えて人形師100年の節目を迎え、展覧会も精力的に企画されておられます。

一時、弁護士を目指したこともある片岡さん。これについて、「僕が法律を好きなのは、平和や平等など、人間が幸福に生きるための根本があると思ったからです。戦争を経験したということもあると思います。方法は違いますが、僕は人形作りを通じて、平和な社会や人間の幸福を表現したいと思っています。」と語っておられました。

本編では片岡さんが語る人形作りと工人(こうじん)という言葉に込めた想いをお伝えします。

→本編は

テキストサイトnote 京都工芸研究会 ロング・インタビュー

<https://note.com/kyotonokogeji/>



取材：2021.12.14 (月) ご自宅の工房にて

4. 令和3年度漆工コース修了式

3/25 (金) 於：京都市産技研

京都工芸研究会は、京都市産技研の「伝統産業技術後継者育成研修」漆工コースを後援しています。本年度は3名が受講。パネル、丸盆、飾箱等の課題作品と自由作品を1年かけて制作、漆芸の塗りと加飾の基礎を学び、修了されました。

京漆器の伝統を継承する担い手として成長されることを願っております。令和4年度は、漆工応用コースが開講されます。



○ お見逃しの方！



令和3年度漆工コース修了作品展 バーチャル展示会
3/2(水)～3/6(日) 京都伝統産業ミュージアムMOCADギャラリー
(陶磁器コース修了作品展もご覧になれます)

スマホやPCで、
3D ビュー+VR 映像で
見学できます。



または産技研
ホームページから
<http://tc-kyoto.or.jp/>

事務局より

○2022年4～6月の主な予定

4/ 8 (金) 漆工応用コース開講式

5月中旬 令和4年度第1回委員会

*月1～2回適宜 事業企画チームミーティング

○フェイスブック「京都工芸研究会@kyotonokougei」は随時更新！

○訂正とお詫び

26/27号4P「見学会報告」で、「色染・精練染織研究会」としていましたが、「京染・精練染色研究会」の間違ひでした。お詫びして訂正します。

つぶやいていいですか

漆エレベーター扉「千年の光」

京都市役所本庁舎1階のエレベーター扉に、産技研の工芸・漆チームと研究会会員の(株)佐藤喜代松商店(令和3年度知恵創出「目の輝き」認定企業)が共同開発した新規分散生漆「黎明」が採用されました。

「黎明」の従来にない透明感のある漆塗りと京都の歴史と未来を表現した京蒔絵により、作品「千年の光」が完成しました。制作は漆工コースの修了生が担当しています。お近くに行かれることがあれば是非お立ち寄りください！